

水産物の市況について(令和2年10月及び令和2年11月)

—東京都中央卸売市場における令和2年10月(令和2年9月21日～令和2年10月20日集計)の市況と、

令和2年11月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和2年10月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月並に推移し、前年同月比では増加しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月よりやや強含みで推移し、前年同月比ではやや弱含みに推移しました。

II 令和2年11月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、産地の水揚げが減少することから減少と見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、紅ざけや秋さけの不漁もあり、横ばいと見込まれ、卸売価格も横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

今後、遅れていた三陸・常磐沖の水揚げが徐々に本格化することから、入荷量は、やや増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮・冷凍とも低調なまま、水揚げのピークを過ぎたことから、入荷量は減少すると見込まれ、卸売価格は強含むと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

漁の端境期であることから、入荷量は横ばいと見込まれ、卸売価格も横ばいと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

供給の主力の台湾船のめばち・きはだの値決めが上方に修正されたことから、入荷量は、全体ではやや減少すると見込まれ、卸売価格は、全体ではやや強含むと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、終漁に近いことから、さらに減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、低調ながらも盛漁期であることから、横ばいと見込まれ、卸売価格も高止まり・横ばいと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	10月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
2年	30	1,111	30	1,069	28	1,078
前年	26	1,176	32	1,095	28	1,146

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	10月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	415	77	118	121
さけ・ます(平均)	1,206	101	130	127
(ぎんざけ塩蔵品)	1,046	99	110	109
(あきさけ塩蔵品)	791	101	99	93
(ときさけ塩蔵品)	1,192	92	101	106
(べにざけ塩蔵品)	1,243	118	98	108
(さけ類冷凍品)	1,254	101	141	137
さば(生鮮品)	363	114	64	64
するめいか(平均)	868	105	89	119
(生鮮品)	857	105	90	115
(冷凍品)	922	105	88	134
あじ(生鮮品)	531	88	78	88
まぐろ(冷凍品)	1,239	105	83	80
(めばち冷凍品)	771	103	71	67
(きはだ冷凍品)	826	110	120	88
(くろまぐろ冷凍品)	3,225	107	99	94
(みなみまぐろ冷凍品)	1,642	109	84	83
かつお(生鮮品)	694	119	97	83
さんま(生鮮品)	909	76	130	175

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:10月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成27年～令和元年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、小山

直通 03-3591-5612